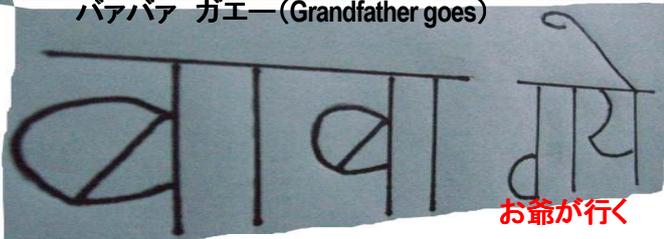


バアバア ガエー (Grandfather goes)



お爺が行く



書画作成

Nidhi Gupta

インド福祉村協会 (IWVS)

<http://iwvs.web.infoseek.co.jp>

現地 PM 加藤 伸也

2009年11月15日 発行 第23号

JICA 草の根支援協力

「保健衛生と人材育成」事業 実施中

2007年9月～2010年8月

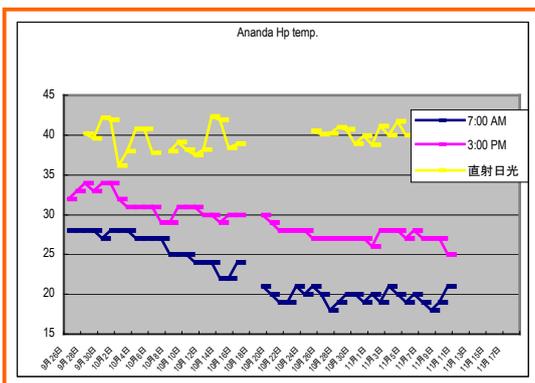
### ◎ 11月6日 学校訪問 ◎ 公立シルシアン学校



病院近所の学校です。先生も2人のようです。インフルエンザも増えてくる次期なので、手洗いと、うがいを教えました。インド内のニュースでは460人弱が死亡とありました。約78,000人を対象にインフルエンザ感染の調査をしたところ、約18%強が「陽性大」とのニュースでした。

インド人口は約13億人ですから、約2億人が陽性の可能性を示しています。私があるUP州は約1.6億人います。3000万人程が感染の可能性があることとなります。同州では、子供対象に薬を配布する報道があった、とスタッフが言っていました。

都会と比較すれば田舎の温度は低いはずですから、これからの季節は心配です。日本同様、都会の感染率は高く死亡率も高いようです。都会では「学校閉鎖」も多いようです。



このクシナガルでも確実に温度は下がっています。グラフでも分かるように「真夏日(30°C)」はもうありません。

1月には10度を下がる日がやってきます。スタッフはみんな長袖を着て「タンダー、タンダー(寒い)」と言っています。私も長袖は着ていますが、袖はまくっています。寝るときは寒いので、毛布を2枚重ねています。イヤー、夜は冷えますね。

### ◎ お米の収穫 ◎ 懐かしい「日本の風景」

今はお米の収穫期です。上の写真(右)は校庭に刈った「米」が山のように積んであります。校庭は広大な空き地なのででしょうか、近所の農家の人が一所懸命にお米を収穫していました。

右の写真は「大型扇風機」ですが、手回しです。米わらを叩いて米粒を取り出し、その後この扇風機(日本は「とうみ」です)で米粒と籾殻を選別します。

風下に立って見ていたので、体中屑だらけになりました。これは大変な労力を使います。私も病院でやっていたとき、回しましたが1分もやれば「モウー、止めた」でした。

何でも、懐かしいひとつの 「日本の風景」 でした。

